

富士中だより

八丈町立三根学園富士中学校 平成31年2月22日

ホームページ <http://www.hachijomachi-tky.ed.jp/fujichu/>

◇ 学校教育目標 ◇
自ら進んで学ぶ生徒
人や自然を愛する生徒
健康でねばり強い生徒
《校訓：自主・敬愛・根気》

「三根小学校との連携」

副校長 佐藤 孝男

2月12日に実施した新入生保護者説明会には、多くの保護者の方々に来校していただきました。説明会では富士中職員の他、八丈島警察署防犯係の方、八丈町教育相談員の梅田先生も来校し、それぞれの立場からお話をいただきました。また、三根小学校の6年生も朝から放課後まで授業や部活動を体験しました。昨年までと違い一日体験するのは今年度からとなります。

4月に三根小学校の児童と富士中学校の生徒が一堂に会し、小中一貫型教育校として開校式を行いました。三根学園として様々な取組を進めていくスタートを切ったのです。今年度小中で連携してきた主な取組を振り返ると、

〔ボランティア清掃〕4月21日に中学1、2年生（中学3年生は修学旅行）と小学5、6年生が底土海岸の清掃活動を行いました。小中学生が一緒のグループになり、婦人会の方も加わって交流しながらの活動です。

〔リトルティーチャー〕7月24日、12月5日には富士中の生徒が三根小に赴き、算数の先生になりました。児童に分かりやすく説明するためにはどうすればいいのか？生徒にとっても充実した取組になりました。

〔出前授業〕7/24、三根小の先生が富士中に来て学習の補助をしていただきました。また、同じように富士中から三根小に行き、出前授業を行いました。

〔出前部活動〕7月10日はバスケット部、11月13日はバレー部がそれぞれ三根小に行き、一緒に練習をしました。今後も様々な部活動を通じた交流を計画していきます。

〔招待リレー〕小中それぞれの運動会に招待リレーという形で参加しています。今年度は中学校の運動会で児童の走る姿を見ることはできましたが、小学校の運動会はあいにくの天気で、中学生のリレーは中止となりました。

〔合唱コンクール〕中学1年生が6年生に招待状を送り、小学生が鑑賞に来てくれました。

〔読み聞かせ〕12月3日は中学1年生が三根小の1～3年生に絵本の読み聞かせを行いました。1年生は事前に声の大きさや読み方などを工夫しながら練習を重ね、本番に臨みました。

以上の取組以外にも中学生は三根小学校の運動会や学芸会等を参観しに出掛けています。交流とはいかないまでも、お互いに様々な活動を見合うことはとても良い刺激になります。

さて、12月に保護者の皆様にお配りした「学校評価」のアンケートですが、今回からマークシート式に変更しました。いくつかご意見もいただき、その中に「小中一貫になったことを地域の人たちは理解していない」とありました。確かに大きな行事を一緒に行うという事はしていないので、地域の方に十分な周知はできていません。保護者の皆様はもちろん、地域の振興委員の方や民生児童委員、学校関係者評価委員の方に、広く小中の取組について理解と周知を今後も図っていきます。

学校保健委員会を開催しました

1月28日(月)、三根学園の学校保健委員会を小学校と合同で開催しました。学校保健委員会は、小中の学校医、学校歯科医、学校薬剤師、PTA役員、校長、副校長、生活指導主任、養護教諭で構成されています。心身ともに健康な生徒の育成を目指し、健康づくりに関わる活動の推進を図るため、学校保健の問題について意見を交換し、その実践を推進していくための研究協議と調整を行うことを目的としています。小中合同で行うのは3年目になりました。

学校歯科医の菊池一江先生から歯科全般に関すること、富士中学校医の木村先生からは感染症についてのお話をいただきました。一江先生から、口の中は雑菌が多く、プラーク(歯垢)は一週間で歯石になる。歯肉に炎症が起きて歯周病になると、歯を失うこともある。歯周病は痛くない病気だから気が付かないうちに進行してしまう。などお話がありました。木村先生からはインフルエンザを中心にした感染症のお話でした。マスクはのどを潤し、乾燥を防ぐ上でも効果大きい。のどを乾燥させないこと、お茶等で湿らせておくことが予防になるそうです。

意見交換では、歯科受診の話になりました。むし歯の治療率を100%にするのか、定期検診を含めた全員受診を目指すのか、課題も見えてきました。矯正治療も含めて、わかりやすい結果用紙を検討していきたいと思います。マスコミ等でも話題になっている、「歯みがきはインフルエンザ予防にもなるのか」との質問



がありました。口の中には常在菌がたくさんいることから、歯みがきをすると、口の中が清潔になるため、細菌性肺炎等を防ぐことにはつながるそうです。また、ケガが多いのが気になるのご意見もありました。運動はしているが、歩行距離が少ないことによる運動不足も要因の一つにありそうです。

1時間という短い時間の中で、様々なご意見をいただきました。時間がなく、お聞きできなかった意見もありました。見えてきた課題、いただいたご意見を次年度につなぎ、9年間を通した健康教育のために、小中で取り組んでいきたいと思っています。

お忙しい中お集まりいただいた校医の先生方、役員の皆様、ありがとうございました。(養護教諭 川口)

社会科 ノートコンテスト



冬休みの課題で、ノートコンテストを実施しました。社会の学習というと、「用語がいっぱいで暗記も多い…」というマイナスイメージがみなさんの中にはあるでしょう。確かに用語を覚えることは大切です、英単語や漢字の練習のように、繰り返し書いて覚えるということも必要です。しかし社会科で一番大切なのは、いかに多くの資料に触れるかです。地図、統計、表、グラフ、年表、写真など…。それらの読み取りから何がわかるのか?例えば、「ブラジルの鉄鉱石の生産量は年々増加している」と文章だけで書くよりも、鉄鉱石の生産量を示すグラフと一緒に載せた方が、その推移がひと目でわかるはずです。今回グランプリや優秀賞をとったみなさんのノートは、資料を上手に使っていて、わかりやすいものばかりです。また授業で習った内容をベースに、自分自身で興味関心を広げてテーマを設定している人もいます。中にはイラストを添えて、自分なりにわかりやすいように工夫をしている人もいました。ぜひ上手なノートづくりを、今後の自分の学習の参考にしてください。これからの授業の中でも、みなさんにはたくさんの資料に触れながら、社会科という教科を楽しんでもらいたいと思っています。(社会科：小川)



グランプリの田村澯さんのノート

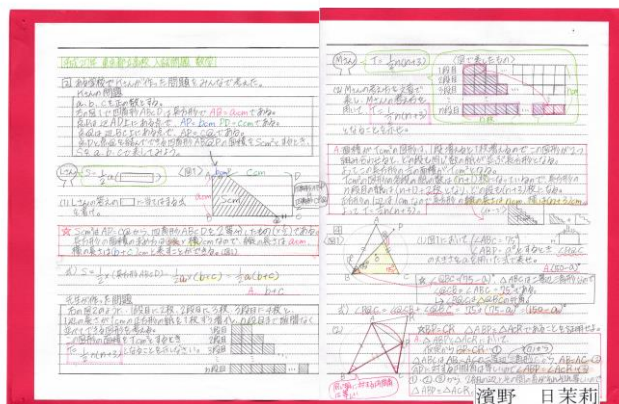
【グランプリ】 田村 澯(3A)

【優秀賞】 玉置妃瑤(1A)、及川 空(2A)、濱野日茉莉(3A)

【入賞】 菅原葉月姫(1A)、平川ここな(1A)、持丸瑠菜(1A)
浅沼渚純(2A)、小崎麻央(2A)、小宮山夏実(2A)
井ノ口海我(3A)、佐々木創大(3A)

数学科 ノートコンテスト

1月に全学年がノートコンテストに取り組みました。数学の課題として定期考査ごとに「相手に分かるように」を意識しながら作成する振り返りレポートがあります。今回の取組はレポートで養った力を発揮するよい機会となったことでしょう。自分一人ではわかるけれどそれをどう表現すれば相手に伝わるのか、を考えるので大変な作業です。数学は「正確にわかりやすく伝える力」を養うには効果的な教科ですので、よいノートを参考に表現力のレベルアップをどんどん図っていきましょう。ノートのまとめ方や使い方などを参考に毎日の家庭学習の中にも取り入れてもらえたらと思います。



グランプリ 3年 濱野 日茉莉さん

今回のノートコンテストは都立の過去問から選択するものだったので自分が解けなかった問題を選んでまとめました。解法を探しながら自分なりの考え方でノートにまとめたので、問題をさらに深く理解することができたと思います。証明問題は文字が多く混乱するので、色をつけて図と文をリンクさせやすいように工夫しました。入試本番では色を使えないので、その中でも頭を整理できるように印をつけるなど工夫をしていきたいです。

- | | | | |
|-----|------------|-------------|------------|
| 優秀賞 | 1年 奥山 笑妃さん | 2年 奥山 ひとみさん | 3年 山丸 法子さん |
| 入賞 | 1年 浅沼 千葵さん | 菅原 葉月姫さん | 平川 ここなさん |
| | 2年 浅沼 渚紬さん | 小崎 麻央さん | 田中 汐莉さん |
| | 3年 田村 滯さん | 団村 しおんさん | |

数学基礎学力コンテストを終えて

1月22日から28日まで、毎朝各学年で基礎的な内容を中心に計算小テストを行いました。小テストの直前はグループごとにお互いに教え合い学習をしてきました。最初は計算方法が曖昧であった生徒も教え合い活動を通じて徐々に計算方法を覚え、正確に計算できるようになってきました。各学年のそれぞれのグループで丁寧に自分の言葉で説明しながら、分かるまで寄り添う姿が各学年で見られたことはとてもうれしかったです。本番の基礎学力コンテストでは1週間のこの学習を通して多くの生徒が合格ラインを越えることができました。今回の取組を通じて「何度も繰り返してやれば、できないことができるようになる。」ことを学んだ生徒も多かったことだと思います。この経験をこれからの学習に活かしてってもらいたいです。

(数学科・山根)

頑張りました 満点賞！

1年 深水 秀真、石井 咲希

2年 塩野 丈、玉井 海音、菊池 美優、平井 ゆづ

3年 井ノ口 海我、菊地 一瑛、高橋 龍日、早川 友暉、木村 夏音、鶴見 優心

オリパラ講演会

2月16日(土)、土曜授業の2・3時間目を使ってオリパラ講演会を開催しました。講師は陸上競技走り高跳びの元日本記録保持者である君野貴弘氏です。第1部では、実技指導希望者10名の生徒と共にジャンプ力向上を目指したドリルなどの動き作りをしました。少しのアドバイスで見違えるように動き方が変わってくる様子を見て、ポイントを押さえることの大切さを実感しました。後で聞いた話ですが、実技指導を受けた生徒たちは潜在能力が高く、このまま走り高跳びを続けていけたら将来が楽しみな生徒たちだったと話していました。



第2部は「走高跳を通して学んだ人生」と題した講演会です。まず最初に日本記録を出した時の映像が映し出され、身長よりもはるかに高いバーを跳び越える姿は圧巻でした。



君野氏は好奇心旺盛で活発な子供時代だったようで、高いところから飛び降りてけがをしたエピソードなどがありました。そんな中で自分の能力を引き出してもらうことになった先生や仲間との出会いを大切にしてきたことがにじみ出ていました。そして目標を定めたらそれに向けてたゆまぬ努力を続けたことが、日本記録樹立という結果に結びついたのだと思います。

講演会を終えて、生徒たちの心に挑戦への意欲が湧きあがってきたことが嬉しく感じました。

(保健体育科 氏部)

生徒の感想

- ・君野さんが跳んだバーの高さを見たときに嘘かと思いました。
- ・目標を追い続けることがいかに大切か分かりました。
- ・できないからという気持ちで諦めることを今後はやめようと思いました。
- ・好きなことができたら、今日の講演を思い出して突き進みたいです。



バレー部如月杯 結果報告

午前 予選リーグ 1勝1敗 午後 2位リーグ0勝2敗 全体6位

バレーボール協会主催の大会に参加させていただくようになり、3年目。10月のTEPCO杯から更に成長した姿を見ることができました。サーブ、スパイクカット、スパイクの決定力、個々の力は格段に上がりました。また、10点差から驚異の追い上げを見せるなど、声を掛け合い、精神的にも強くなってきました。しかし、まだまだチャンスボールをチャンスにして決めきる、どんな状況でも諦めないで一本を繋ぐという大きな課題があります。

夏の島しょ大会、都大会まで5ヶ月です。悲願の「都大会1勝」を目指して、頑張っていきます。今後ともご理解・ご協力よろしくお願いします。(バレー部顧問)

3月の主な予定

3月 1日(金) 都立合格発表
3月 9日(土) 展示会一般公開
3月10日(日) 展示会
保護者会
3月15日(金) 卒業式予行
3月20日(水) 卒業式

3月22日(金) 大掃除
3月24日(日) 吹奏楽部定期演奏会
3月25日(月) 修了式
離任式